

連続セミナー!!

再入門 日本宗教史

6月4日(木) 「京都から見た近代仏教」

大谷栄一 × 近藤俊太郎

6月11日(木) 「南島キリスト教交流史入門」

「貫流」〈循環〉〈越流〉をキーワードに――

一色哲

6月19日(金) 「君は他人様の墓に参ったことがあるか?!

角南聡一郎 × 土居浩

6月26日(金) 「治せば分かる――霊術家たちの不思議な世界」

栗田英彦 × 吉永進

時間はいずれも18:30～20:00

場所: 京都大学人文科学研究所本館1Fセミナー室1 無料・予約不要

主催: 京都大学人文科学研究所

共催: 共同研究「日本宗教史像の再構築」

ホームページ: http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/religious_histories/

連絡先: 菊地 akki@zinbun.kyoto-u.ac.jp



日本宗教史再入門

「日本宗教史」というと、原始神道、仏教渡来、神仏習合、キリスト教伝来…といったストーリーが思い浮かぶ。それがただちに誤りとはいえないが、じつのところ、そこからこぼれ落ちる複雑怪奇な出来事たちが「日本宗教史」にはあふれかえっている。何より、私たちが思っていた「宗教」という概念じたい、じつはきわめて近代主義的な産物であり、その色メガネから眺めていた歴史像にいろいろと不具合があることも、どうやら認めざるをえないのだ。分かったつもりになっていたかもしれない「日本宗教史」、あらためて「再入門」してみよう。



大谷 栄一 (おおたに・えいいち)

佛教学部社会学部准教授
 (専門) 宗教社会学、近代仏教
 (著作) 『アジアの社会参加仏教』(共著、北海道大学出版会、2015年)、『ブッダの変貌』(共編著、法蔵館、2014年)、『近代仏教という視座』(ペリカン社、2012年)



角南 聡一郎 (すなみ・そういちろう)

元興寺文化財研究所研究員
 (専門) 考古学・民俗学
 (著作) 「墓石研究と民俗学」(『日本民俗学』276、2013年)、「墓と説話伝承:物質文化研究の視座から」(『アジア民族文化研究』13、2014年)ほか



近藤 俊太郎 (こんどう・しゅんたろう)

本願寺史料研究所研究員
 (専門) 日本仏教史(近代)
 (著作) 『天皇制国家と「精神主義」—清沢満之とその門下』(法蔵館、2013年)、「戦後親鸞論への道程—マルクス主義という経験を中心に」(『仏教文化研究所紀要』第52集、2014年)



土居 浩 (どい・ひろし)

ものづくり大学准教授
 (専門) 民俗学/地理学
 (著作) 「葬送・墓制(日本民俗学の研究動向2009-2011)」(『日本民俗学』277、2013年)、『墓制・墓標研究の再構築』(共著、岩田書院、2010年)ほか



一色 哲 (いっしき・あき)

帝京科学大学総合教育センター准教授
 (専門) 南島キリスト教交流史・日本キリスト教史
 (著作) 「軍事占領下における地域形成とキリスト教—1940年代後半の沖縄を事例に—」(『日本の神学』49、2010年)、『福音と世界』(新教出版社)誌上に「南島キリスト教史入門」を連載中



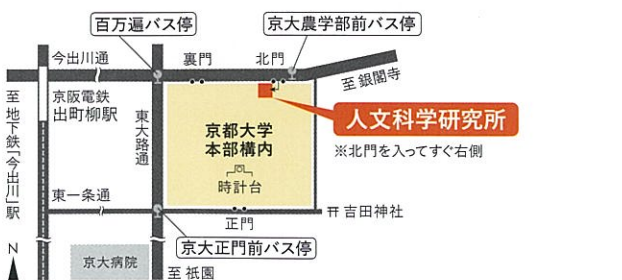
吉永 進一 (よしなが・しんいち)

舞鶴工業高等専門学校
 (専門) 近代仏教、近代秘教思想
 (著作) 『日本人の身・心・霊:近代民間精神療法叢書』(編著、クレス出版、2004年)



栗田 英彦 (くりた・ひでひこ)

日本学術振興会特別研究員
 (専門) 近代日本宗教史、身体技法研究
 (著作) 「国際日本文化研究センター所蔵静社資料—解説と目録—」(『日本研究』第47、2013年)、「真宗僧侶と岡田式静坐法」(『近代仏教』21、2014年)



●市バス 17、203系統「京大農学部前」下車徒歩1分/31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分
 ●京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右
 *駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

次回予告

●レクチャー上映会
記憶の場:
昭和の大札と映画都市京都

第一部 講師 | 冨田美香 / 高木博志
 第二部 無声映画上映会『崇禅寺馬場』ほか 活動弁士 | 片岡一郎
 日時 | 6月14日(日) 14:00~18:00
 場所 | 京都大学時計台記念館国際交流ホールⅢ
 共催 | 立命館大学アート・リサーチセンター